

くめじま

議会だより



2022.6.1

No. 80

久米島町議会



勉強と部活の 二刀流でがんばるぞ!!



3月定例会

- 一般会計予算・予算審査報告 P2~3
- 定例会・臨時会で決まったこと** P4~6
- 島内現場視察 P7
- 町政を問う 一般質問 P8~19
- 委員会レポート P20~21
- 議会の動き・編集後記 P22

久米島町の人口・世帯数 (2022年3月末現在)

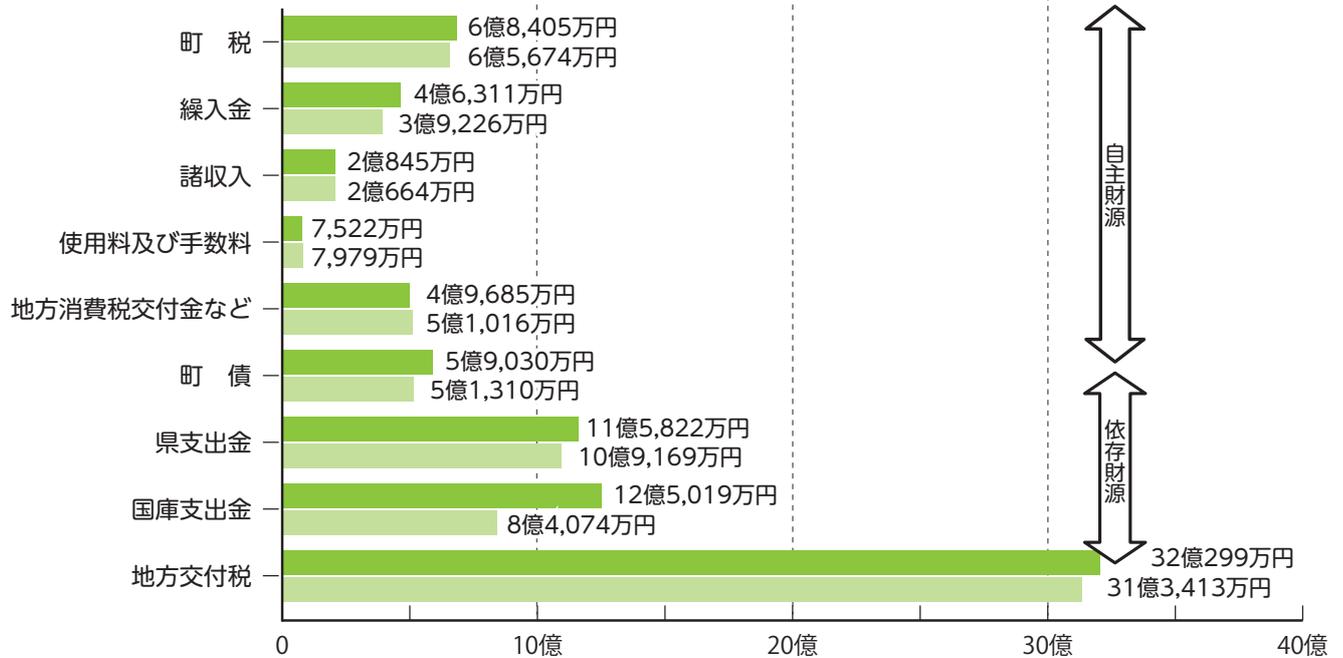
男	3,957人	女	3,493人
計	7,456人	世帯	3,947世帯

81億2,943万円を可決

一般会計

令和4年度 令和3年度

歳入・当初予算年度比較（千円以下切り捨て）



4年度収入の特徴

収入総額に占める地方交付税の割合が39.4%を占めており、また、国や県から使い道を指定されて交付される国庫・県支出金の割合が29.6%となっています。国や県から配分、支出される財源に大きく依存していることがうかがえます。また、大型建設事業等に充てられる町債の借入が増大となるため今後厳しい行財政運営が求められます。一方、町民の皆様へ納めていただく町税8.4%、財産収入や使用料、手数料などの諸収入が6.8%となっており自主財源が非常に乏しい状況となっています。

予算審査は議長を除く13人の委員で構成された特別委員会を設置し、3月11日・14日の2日間にわたって審議しました。主な審議内容を報告します。

一般会計

町税

前年度と比較すると、2千731万6千円の増で6億8千405万9千円の計上となっている。新型コロナウイルス感染症の影響は限定的と予想しているが、町たばこ税の落ち込みを想定した額となっており、法人税については、過去3年の徴収実績を平均した見込み額で、438万2千円増の予算となっている。

地方交付税

対前年度比6千886万4千円増となり、32億299万7千円で普通交付税が28億5千万円、特別交付税が3億5千299万7千円で、対前年度比6千886万4千円増となっている。

普通交付税が増額となっている要因は、前年度から基準財政需要額に新たな項目デジタル推進費が追加されたことに伴うものとなっている。

国庫支出金

対前年度比、4億971万8千円増の12億5千19万4千円を計上しており、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」に充当する補助金で、対前年度比1億2千117万1千円の増、防衛施設周辺民生安定施設整備事業費で対前年度比4億2千595万円増額の予算が主な要因となっている。

県支出金

対前年度比6千653万1千円増の、11億5千822万2千円で、農林水産費県補助金が対前年度比1億3千351万4千円の増となっている。

町債

対前年度比7千720万円増の、5億9千300万円で、主に「ごみ処理施設（焼却施設）整備事業」及び「学校施設耐震化事業」が主な要因となっている。

予算審査報告

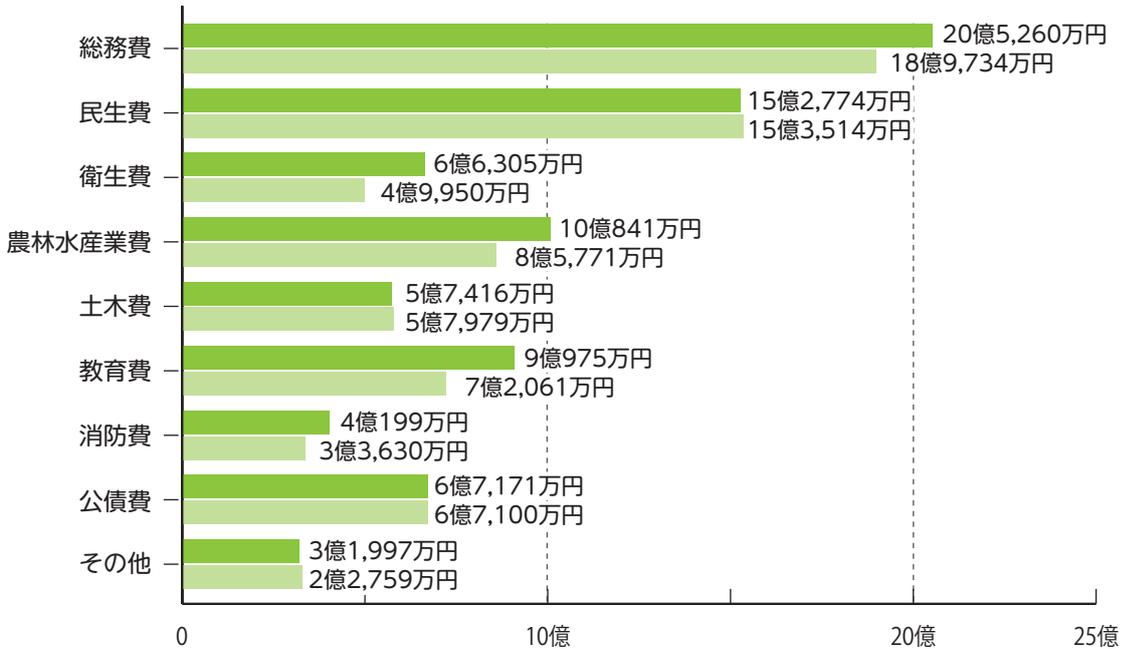
令和4年度一般会計予算

令和4年度
予算総額
97億8,583万円

一般会計	81億2,943万円	9.5%増加
国民健康保険特別会計	10億695万円	- 3.3%減少
後期高齢者医療特別会計	8,109万円	- 4.1%減少
下水道事業特別会計	2億7,962万円	21.4%増加
水道事業会計	2億8,872万円	4.3%増加
合計	97億8,583万円	8.0%増加



● 一般会計 ■ 令和4年度 ■ 令和3年度 歳出・目的別年度比較（千円以下切り捨て）



4年度支出の特徴

今年の歳出の内訳を見ると、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を計上している経費（総務費）が25.2%と割合が高く、次に、農林水産業の振興に係る経費（農林水産業費）が12.4%と続いています。次に、教育及び学校施設に係る経費（教育費）が11.2%、借金の返済である公債費が8.3%となっており、全体の約57.1%を占めています。

国民健康保険特別会計

一般被保険者国民健康保険税

令和4年度歳入歳出の予算総額は、10億695万4千円で、対前年度比、3千397万7千円の減額になっている。一般被保険者療養費は、治療装具やあんま、マッサージ、はり、きゅうの費用となりますが、令和2年度の実績で211件、令和3年度で220件を見込んでいる。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料

令和4年度歳入歳出の予算総額は、8千109万7千円で、対前年度比、347万円で減額となっている。

水道事業特別会計

令和4年度の給水戸数は、3,904戸で、年間給水量は83万962立方メートルの予定となっている。収入の水道事業収益は、2億2千212万7千円を計上している。支出の水道事業費用は2億2千17万6千円を計上、主に委託料、人件費、動力費等である。

下水道事業特別会計

令和4年度歳入歳出の予算総額は、2億7千962万1千円で、対前年度4千931万2千円の増額となっている。沖縄振興公共投資交付金事業を活用し、銭田地区の下水道管渠工事及び現場技術業務委託、並びにストックマネジメント計画策定業務委託を予定している。

// 定例会・臨時会

すること及び階級を改める必要がある。

- 久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例
バーデハウス久米島再生プロジェクトに関する民間提案事業者を選定するため、バーデハウス久米島再生プロジェクトに関する民間提案事業者選定委員会を設置する必要がある。
- 久米島町職員定数条例の一部を改正する条例
議会事務局の職員を増員するため、久米島町職員定数条例の一部を改正する必要がある。
- 久米島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
バーデハウス久米島再生プロジェクトに関する民間提案事業者選定委員会の設置にあたり、委員の報酬及び費用弁償の額及び支給方法について、条例で定める必要がある。
- 久米島町立幼稚園の預かり保育に関する条例の一部を改正する条例
久米島町立幼稚園の預かり保育を利用する保護者の経済的な負担を軽減するため、久米島町立幼稚園の預かり保育に関する条例の一部を改正する必要がある。

一般審議

- 久米島町辺地総合整備計画の策定について
久米島町辺地総合計画の策定に伴い、議会の議決を得る必要がある。
- 久米島家畜市場の指定管理者の指定について
久米島家畜市場の指定管理者の指定が令和4年3月31日で終了するため、地方自治法の規定により次のものを指定管理者に指定することについて、議会の議決を得る必要がある。

施設の名称 久米島家畜市場
団体の名称 沖縄県農業協同組合久米島支店
代表者 支店長 仲村渠 勝
指定の期間 令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

- 阿里ゆんたく館の指定管理者の指定について
阿里ゆんたく館の指定管理の期間が令和4年3月31日で終了するため、地方自治法の規定により、次のものを指定管理者に指定することについて、議会の議決を求めるものである。

定例会・臨時会で決まったこと

3月定例会

令和4年3月（第2回）定例会は、3月7日から24日の18日間の日程で行われ、令和4年度の予算をはじめ議案19件、報告1件、陳情4件、意見書1件、決議1件を審議した。12人が登壇し一般質問が行われた。

令和3年度補正予算



- 一般会計補正予算（第9号）
93億3,562万円（2億938万円減）
- 一般会計補正予算（第10号）
93億5,007万円（1,445万円増）
- 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
10億4,343万円（1,369万円減）
- 下水道事業特別会計補正予算（第2号）
2億3,408万円

令和4年度予算



- 一般会計予算
- 国民健康保険特別会計予算
- 後期高齢者医療特別会計予算
- 水道事業会計予算
- 下水道事業特別会計予算
（詳しくは2～3ページをご覧ください）

条例の改正



- 久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
全世帯対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令の施行に伴い、未就学児に係る国民健康保険税の被保険者均等割額の軽減措置の見直し等を行うため、久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する必要がある。
- 久米島町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例
本条例に規定されている報酬の支給要件を明確化

// 定例会・臨時会

議員提出



●国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

●ロシア連邦によるウクライナ侵攻に対し、早期停戦、撤退と平和的手段による早期停戦、撤退と平和的手段による早期解決を求める決議

第1回臨時会

会期：令和4年
2月3日

令和3年度補正予算



●一般会計補正予算（第8号）
95億4,501万円（2億6,066万円増）

専決処分

●子育て世帯生活支援特別給付金の支給額5万円を10万円に増額し、年内に支給する必要があるが、予算執行に当たり特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、専決処分とする。

施設の名称 阿里ゆんたく館
団体の名称 沖縄県農業協同組合久米島支店
代表者 支店長 仲村渠 勝
指定の期間 令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

●奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定について



奥武島キャンプ施設の指定管理者を指定するため、地方自治法の規定により、次の者を指定管理者に指定することについて、議会の議決を求める。

施設の名称 奥武島キャンプ施設
団体の名称 合同会社 PLUCK
代表者 石坂 達
指定の期間 令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

専決処分

●令和3年第8回久米島町議会定例会で議案第35号を持って議決された「具志川庁舎解体工事請負契約について」の一部変更の必要が生じたため、専決処分する。

契約金額中「45,540,000円」を「48,565,000円」に変更する。

一般審議討論 (抜粋)



反対討論

【赤嶺 秀徳 議員】

会社概要や事業内容を事前に議会に説明がなかった。観光のためにいいことだと思うが、手続き面で納得できないため本件について反対する。

【喜久里 猛 議員】

内容が見えない。添付書類や指定期間が疑問。もう少し議員に説明して書類も確認してほしいということで本件に関して反対する。

賛成討論

【吉永 浩 議員】

PLUCKさんはしっかりとした事業をやっているというのは感じている。行政にはこういう方々が事業をやっていますという議会や地域に対して説明が足りないと思うので、説明の機会をしっかり行ってほしいということを要望した上で私は本件に関して賛成する。

【真栄平 建正 議員】

久米島で起業して移住定住して支援する。これは行政の役割でもある。その目的が合致した形での委託者だと認識し、本件に関して賛成する。

議長は裁決に加わらない

賛否が分かれた議案審議結果

賛成は○ 反対は×

氏名	喜久里 猛	盛本 實	富永 肇	赤嶺 秀徳	宇江原 総清	吉永 浩	新垣 幸子	棚原 哲也	喜久里 猛	真栄平 建正	東江 浩明	翁長 学	幸地 猛
件名													
奥武島キャンプ施設の指定管理者の指定について	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○

委員の任命



- 建設経済委員の任命について
委員長 喜久里 猛 議員
- 議会運営委員の任命について
委員長 喜久里 猛 議員
委員 棚原 哲也 議員
- 総務文教民生委員の任命について
委員 東江 浩明 議員
- 広報委員の任命について
委員長 棚原 哲也 議員
- 議会活性化委員の任命について
副委員長 赤嶺 秀徳 議員
委員 真栄平 建正 議員
- 議員定数調査委員の任命について
委員長 真栄平 建正 議員
副委員長 富永 肇 議員
委員 新垣 幸子 議員
- 深層水に関する調査委員の任命について
委員 喜久村 等 議員

第3回臨時会

会期：令和4年
4月26日

副議長の選任



- 副議長 棚原 哲也 議員



副議長に選任された棚原哲也議員

委員会構成が変わりました

久米島町議会

常任委員会

議会運営委員会(5名)

委員長：喜久里 猛
副委員長：幸地 猛
委員：盛本 實 赤嶺 秀徳
棚原 哲也

特別委員会

総務文教民生委員会(6名)

委員長：幸地 猛 副委員長：赤嶺 秀徳
委員：翁長 学 東江 浩明 新垣 幸子 富永 肇

建設経済委員会(6名)

委員長：喜久里 猛 副委員長：盛本 實
委員：棚原 哲也 喜久村 等 宇江原 総清 真栄平 建正

広報特別委員会(5名)

委員長：棚原 哲也 副委員長：赤嶺 秀徳
委員：宇江原 総清 真栄平 建正 富永 肇

議会活性化委員会(6名)

委員長：盛本 實 副委員長：赤嶺 秀徳
委員：真栄平 建正 喜久村 等 東江 浩明 新垣 幸子

海洋深層水に関する調査特別委員会(6名)

委員長：幸地 猛 副委員長：真栄平 建正
委員：盛本 實 赤嶺 秀徳 富永 肇 喜久村 等

議員定数調査特別委員会(7名)

委員長：真栄平 建正 副委員長：富永 肇
委員：盛本 實 赤嶺 秀徳 新垣 幸子 棚原 哲也 幸地 猛

予算審査特別委員会・決算審査特別委員会
議長を除く12名の議員で構成



島内現場調査

2月28日(月) 全議員で島内現場の視察を行った。焼却施設外構工事事業、宇江城城址線道路工事事業、儀間地区排水路改修工事事業、風の帰る森プロジェクト推進事業4カ所を視察した。工事の進捗状況や、問題点を確認した。



焼却施設外構工事事業



宇江城城址線道路工事事業



儀間地区排水路改修工事事業



風の帰る森プロジェクト推進事業

楽天ユニフォーム着用し、活躍願う。

新型コロナウイルス感染症の影響で春季久米島キャンプが中止となったが、来季キャンプの誘致と公式戦勝利へ向け久米島からエールを送った。





喜久里 猛 議員

問 農道の再整備は

答 緊急性の高い箇所等を選定し対応する



問 復帰後整備された町内の農道が約50年になる。危険農道が数多くみられる。例として、仲地の農道、西銘アシジャーのテーヤバルあたり。町は改修が必要な農道を何箇所把握しているか、その対策は。

答 農道整備の必要性は、過去に実施した委託業務の中で、区長や土地改良区からの要望箇所を集約し、整備計画を策定している。また、改修、修繕が必要な農道は、町民の皆さんをはじめ、各方面からの依頼や要望を年度毎にまとめている。その中で、緊急性の高い箇所等を選定し対応している。



仲地の農道



西銘テヤバルの農道

一般質問 — 町政のここを問う

問 空き家解体後の補助は

答 県の支援事業を拡充した形で実施する予定

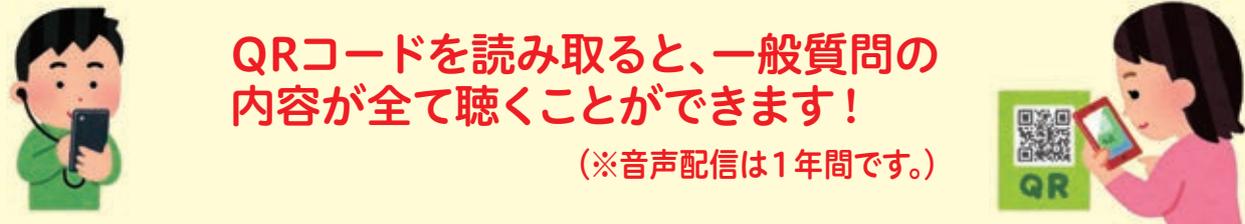
問 2月9日付の新聞報道で解体後の跡利用に補助金を出すところがあるが、報道以外の条件はあるのか。

答 県の担当部署へ問い合わせたところ、空き家対策総合支援事業を拡充した形で実施する予定となっており、補助金交付の要件として空き家を除去した跡の土地の整備費として、公益性の高い用途で使用すること、10年以上同一の用途で活用する場合に限り補助金を交付することになっている。

一般質問の記事では、質問と答弁の内容を要約して掲載しています。※ここでは年号（令和）を省略しております。

QRコードを読み取ると、一般質問の内容が全て聴くことができます！
 （※音声配信は1年間です。）

一般質問の音声はYouTube(外部サイト)により配信しています。各議員のQRコードを読み取り、ぜひお聴きください。





真栄平 建正 議員



問 水道技術管理者採用試験は公平といえるか

答 公募しており公平である



問 ①応募者数は。②受験資格にある資格を有する者とは。
答 ③資格を有する者の実務経験は役場水道事業での経験しか経験年数に換算されないのは。

答 ①応募者はいなかった。②水道に関する実務に一定期間従事した経験を有する者、又は厚生労働大臣の認定を受けたものが行う水道の管理に関する講習の課程を修了した者。③通常の民間工事は経験年数に換算されない。

問 役場の水道事業に携わらないと受験資格さえない、特定の者しか受験できない仕組みになっているのでは。

答 採用試験は公募し、公平性を保つことが大原則である。

問 役場の水道業務に携わらないと水道技術管理者の資格も得られない、採用試験の受験資格さえない、これが公平といえるのか。特定の者しか受験資格が与えられない、これは公平ではない。今後、水道技術管理者をどのように確保

するのかが伺う。
答 職員に研修により資格取得させ配属する。

問 バーデーハウスの開館予定は

答 明確な時期は示せない

問 事務事業の進捗状況は。

答 公募条件、選定基準、選定方法等を4月上旬に公表予定、6月中に提案受付、7月に事業者選定予定である。開館予定は明確な時期は示せない。

問 民間事業所は莫大な投資をする、町も真剣に向き合わなければならない。これまでの議会答弁では選定委員会は役員で構成するとの回答であったが企業経営に素人の役員が選定できるか、判断できるか、専門家による委員構成にするべきと再考を求めた。選定委員会の委員構成は。

答 沖縄コンベンションビュー

ロー、沖縄総合事務局、沖縄金融公庫、公共R不動産、企画財政課長、町民代表計6名を予定している。

問 専門的知識を有する委員を主体に構成され安心した。公正公平な審査で久米島町発展に資する事業所が選定されることを望む。



一時休館となっているバーデーハウス

問 深層水取水管拡張の推進を

答 4年度に全体計画を策定し、事業採択に取り組む

問 取水量はどのように決定するか。その時期は。

答 事業所の将来の取水計画を踏まえ、現在は10万トンとしている。最終決定は4年度1月ごろを想定している。

問 財源確保はどのようにするか。

答 補助事業の活用、民間資金の活用等幅広く検討する。

問 事業導入で最大の課題は。
答 150億〜160億の事業費、町の財政負担等、財政面が大きな課題である。

問 民間資金活用、民間連携、民間投資を如何に引き込むかは、課題となっている財政の解決策の1つである。海洋深層水は久米島のさらなる大きな産業になり得る。しかし間違っていると財政破綻に繋がる、慎重かつ積極的に進める必要がある。



盛本 實 議員

一般質問 — 町政の「い」を問う

問 海洋深層水関連産業の振興を

答 令和4年度に全体計画を策定し対応



問 4年度の施政方針の中で、海洋深層水産業の振興は「久米島モデル」実現に取り組みとあるが、具体的な取り組みは。

答 3年度より海洋深層水活用・漁業用施設整備全体計画策定の海域調査等を実施しており、4年度に調査結果を基に全体計画を策定し事業実施に取り組む。

問 平成23年度「みどりの分権改革推進事業」調査を導入しているがそれとの違いは。

答 本町における海洋深層水の更なる可能性調査の目的で実施した経緯がある。

問 みどりの分権改革推進事業「久米島モデル」事業としてこれまで進めてきている。その調査報告では、経済効果が80億円／年、雇用創出が1500名となっている。しかし現状の取水量は効果は出ない。どれくらいの取水量であれば効果は出るのか。
答 現在は一日10万トンで予定している。



海洋深層水関連事業計画地域

問 この事業がこれまで進んでいなかった原因は。

答 事業費が膨大で、県との調整がうまくいかなかった。

問 町が事業主体となり民間活用は考えていないのか。

答 事業費が150～160億となると町営事業ではかなり厳しいので県営事業に向けて取り組む。

問 本町の現状の就業人口が約4000名、産業の経済効果が200～230億円。この「久米島モデル」の実現により経済効果が80億円、雇用効果が1500名となると、本町

が抱えている人口減少等々含め諸々の問題解決の糸口になるのでは。

それと、事業実現の為に人員体制の強化も必要なので。

答 今後のことに関しては次期町長の方針を決めてやるべきだと思っている。

問 沖縄県振興特別推進交付金減額に伴う影響は

答 対前年度比3.3%減の為影響はない

問 4年度の沖縄振興特別推進交付金が大幅な減額が決定したが、本町への影響は。

答 本町における配分額は対前年度比3.3%の減額にとどまっております。影響はない。

問 町民サービスへの影響は。

答 各課からの要望予算は満額計上で特に町民サービスへの影響はないと考える。

問 道路整備について

答 事業計画を策定し対応

問 県道・町道とも未整備箇所が多くみられる。その対策について

答 県道については県への整備要請。町道においては整備計画を策定して対応する。

問 公共施設の整備

答 適切な修繕の実施

問 去る12月にリトルシニアの全国野球大会が仲里野球場で実施された。その時の保護者からトイレの整備要望がある。4年度も同大会が決定しているのでも早めの対策を。

答 日常的な管理は怠っていない。今後施設の集約化も含めて対処する。



棚原 哲也 議員



問 高所津波避難タワーが必要では

答 緊急指定避難場所を確保してある



問 イーフ地区2ホテル経営者替わっている。協定は結ばれているか。

答 経営者が替わった後再度協定を結び直している。

問 通常非常階段施設されている状態である。エレベーター乗降も詰めているか。

答 災害時鍵を開けて対応するというところでホテルと調整中である。

問 海抜の低いイーフ地区、奥武島にタワーが必要である。検討を。

答 津波避難タワーは必要性も感じている。イーフ地区は民間の建物を活用、奥武島は検討する必要がある。施設整備は財政状況見ながら検討する。

問 タワー建設で利用できる町有地があるか。

答 具体的な場所土地も含め今後検討する。

問 給食センター用地、価格で折り合いがつかないのか。

一般質問——町政のこころを問う

答 周辺と比較し倍以上の乖離がある。

問 周辺一帯で配置変えを検討しているか。

答 再度、具志川庁舎周辺の配置計画を検討したい。

問 別の地域への建設計画は考



那覇市の津波避難ビル

えていないか。
答 土地利用計画検討委員会で配置計画を決めた。

問 施設建設PPP、PFI事業計画やり直さないといけないのか。

答 PFI事業は難しいと考えている。建設年度は整備手法確定したら前倒しのできるようスケジュールを組み直していく考えである。

問 軽石の処理、利活用と、仮置場は

答 リサイクルセンター近く、仮置き

問 リサイクルセンター近く

に1か所に仮置きできる状況か。

答 300トンの量になり町有地での保管できず再度場所を検討すること、県の関係部局と調整している。

問 奥武島の東側に推積している軽石を早めに回収できないか。軽石の利活用について、町道建設の骨材として使えないか。調整する必要があるのでは。

答 大潮のたび増えている状況確認している。予算がつき次第回収をしたい。海流、風、潮流が変わるタイミングと合わせ効果的に回収できるように対応したい。

問 4年度本町で日本の渚100選の大会がある。イベントに向けての対策は。

答 渚100選の総会が4年にある。予定を組んで回収作業の調整中である。



幸地 猛 議員

一般質問 — 町政のこころを問う

問 ふるさと納税寄付金は

答 新しい返礼品の掘り起こしに取り組む



問 全国的に九州、北海道に人気があるという。町はふるさと納税寄付金を増やす取り組みはできないか。

答 本町では平成29年度よりふるさと納税制度の推進強化に取り組み、創意工夫して寄付額の増加に向けて努めてきた。他にも寄付金を扱うポータルサイト数を昨年度1社、今年度は2社増やしたところである。今後は受託者のネットワークを活かした新規事業者の発掘、コラボ商品の企画開発、久米島の特色を活かした新しい定期便の開発に取り組んでいく予定である。

施政方針の内容を問う

問 町政20周年記念事業は。

答 本年12月に記念式典及び祝賀会を開催し町政功労者などの表彰や大田昌秀先生顕彰事業の一環として記念碑建立や落成式典を予定している。

問 農業の振興は。



新しい返礼品の掘り起こしに期待

の機械化を今後も推進していく。

問 林業の振興は。

答 久米島森林整備計画に基づき造林補助事業を活用し将来必要となる材木等の供給に向け、適切な造林補助ができるよう取り組んでいく。

問 観光産業の振興は。

答 DMO設置の効果が図られるよう、関係機関と連携して取り組む。

楽天球団のキャンプ実施については楽天協力会や観光協会等、地元関係機関のほか、仙台マイチームとも連携し、再び本町において春季キャンプが実施できるよう、球団へ

働きかけを行っていく。

問 交通の確保は。

答 高速船の導入の可能性は、航路事業者が実施する航路改善計画の調査結果を踏まえて総合的に判断する。航路事業者の意向や、国、県への許認可事項などを踏まえると、今年度実現の可能性は厳しいものと考えられる。

問 町長の2期8年を振り返って

答 「久米島の再生政策6本の柱」を掲げて取り組んできた。今後は、人口減少、少子高齢化の中でも持続可能な社会を構築し、町民に安全安心な町となり、若者が将来に希望を持ち、未来の子どもたちへ島の持つ価値を繋げていくことにも取り組んで頂きたい。そして、海洋深層水取水管の拡大を是非実現して欲しい。



東江 浩明 議員



問 学校給食費現状と今後の対応は

答 無償化に向け財源確保、支援を検討



一般質問 — 町政のいまを問う

問 本町小、中学生、教職員の人数と月額給食費金額は。

答 3年度6月1日時点小学生450名、中学生209名、教職員126名。月額給食費、小学生3,600円、中学生4,100円、教職員4,700円、歳入を材料財源とし、近年は一般財源からも投入している。

問 県内の給食費無償化自治体は、与那国町、粟国村、多良間村、渡名喜村、嘉手納町、宮古島市、名護市。南風原町は幼稚園児のみ無料化。嘉手納町は生徒数1,380名で予算費は6,640万円、宜野座村、金武町は食材費を負担し給食費の低額に努めている現状。今年度は、本部町も無償化の予定。財源の確保に交付金や、ふるさと納税等で取り組んでいる。離島の自治体が多い理由に、子育て世帯の負担軽減や定住化を目的としていると思う。本町も、財源問題を検討し、今後給食費無料化へ取り組むべき事業だ

問 甘藷の基腐病対策対応の状況と堆肥各種の分析は

答 輪作や苗消毒対策被害減少、検査分析研究機関へ依頼

問 九州から四国、静岡、群馬、茨城など11県に拡大感染報道があるが、本町の現状は。

答 基腐病は現在北海道まで北上しており全国に相当の被害を及ぼしている状況。

問 堆肥基準分析と土壌菌活用の状況は。

答 甘藷は、平成24年度から本町で約1,000トン生産されており、2年度は、305トンまで落ち込んだ。

と考えるが。

答 歳入財源の問題が一番です。子育て支援と併せて助成する必要と思っており今後ふるさと納税等、活用の仕方を前向きに検討し支援を行えればと思っています。



有機農産物が期待される町の堆肥

答 枯草、バカスを活用して無農薬、残留農薬260項目検査をしたが、両方とも不検出。今後有機堆肥とし付加価値販売ができると思う。久米島土壌菌を使った堆肥も検査提出準備中。

問 新規山羊事業者の進捗状況は。

答 新規参入予定業者名は株式会社農業生産法人中小家畜基礎医学研究所久米島山羊牧場、事務所所在地は奥武島内、山羊の放牧をして雌はミルク、雄は肉活用。山羊舎も高床式にし研究。代表者は、静岡県内在住の獣医師で、国内外で動物病院を開業している。県内では、那覇市と宮古島市で開業している。

問 山羊舎の現状と新規参入業者は新たに山羊舎活用

問 山羊舎の現在の状況は。

答 現在16頭飼育中、組合員が活用している。



宇江原 総清 議員

一般質問 — 町政の「こころ」を問う

問 鳥島射爆撃場と政治

答 早期返還を要請



問 世界の政治情勢は2極化し、戦争の道へと。ウクライナと台湾問題だ。奄美から与那国の琉球弧にミサイル基地が建設、予定がされている。鳥島射爆撃場の実射訓練も活発が予測される。

(1) 放射性物質で汚染された島の具体的対策と行動は。

(2) 島をコンクリートで固める石棺を政府に求めるか。

(3) 航空運賃低減の方策は。

答 (1)は軍転協に毎年要請。(2)は島をコンクリートで覆うのは現実的でない。(3)民間航空機は迂回運航の状況で、早期返還を求める。

問 (1)は何年も前から運転協へ要請と繰返した。何度もタイム紙に報道された米国の公文書を伝えたが否認。明らかに確信犯だ。内部被ばくについても故意犯だ。(2)について、故石原慎太郎氏が、沖ノ鳥島の珊瑚柱の周囲をコンクリートで埋めて残した事例。鳥島は放射性物質での環境汚染ははっきりしている。ちなみに

沖繩本島でもピーフォア、枯葉剤で汚染。沖繩の健康寿命を見ると、19年は26位から40位、女性は10位から25位に転落。日本一だった長寿県が。本町のがん死者数は7年の35位から10年後の17年には10位。それでも人体に影響ないと言う。疫学調査もしない。

(3)は10年間も返還を求める。と答弁。那覇空港から直行で100km、ドリスポイントを通れば150km。ドリスを除せよ。

私は故大田昌秀先生から、政治を行うなら歴史を知ることだと言われた。今、ロシアがウクライナを軍事攻撃をしている。ロシアは臆病な国だ。世界で経済制裁等を厳しくすると、窮鼠猫をも噛むの行動に出る。台湾海峡有事で心配なのは、琉球弧等のミサイルの長城に加え、安倍晋三等が提唱している米国の核ミサイル配備だ。

問 自然の生きた活用を

答 環境省が調査を行う

問 襟裳岬では、海岸森林を伐採したため、数十年も昆布が消滅する環境となった。その環境に長年かけて森林を施し、小川も造った結果、以前の豊かな昆布が復活した。京都舞鶴でも山からの栄養豊かな水で豊かな牡蠣が取れた。本町でも河川や海岸線で同様の自然再生が必要。加えて、国立公園構想の実現も必要。

答 自然公園法に基づき、環境省が調査を行う。

問 自然を再生するには、ミネラルを含む栄養豊かな水



石積傾斜の銭田川

を川や海に活用する。本件についても環境省が行うと言うが、国や県に提言することも大事。例えば、謝名堂県道89号線に関し、同僚の真栄平議員と県に抗議し、「仲小前を早めになりたい」との回答を得た。努力すれば実現可能と言う事例。



赤嶺 秀徳 議員



問 上屋付バス停の進捗状況は

答 今年度は厳しい



上屋のない久米島高校前バス停

問 久米島高校前の屋根付停留所設置の進捗状況は。

答 南部土木事務所からバス停上屋の規模の調整があったが、新型コロナウイルスによる組織再編、予算査定等で今年度は厳しい状況で次年度設置を検討。

問 危険個所の認識は。

答 危険な場所と認識している。早急に設置できるように県と調整を図る。

一般質問 — 町政のこころを問う

問 パークゴルフ場の稼働状況は

答 厳しい経営状況

問 パークゴルフ場全体の稼働状況は。

答 コロナ感染拡大防止施設閉鎖期間2回、94日間の休業があり、4年2月時、13,725名の利用実績である。

問 経営が厳しいとの事である、実質的な赤字額は。

答 3年度途中決算上、約600万円の赤字である。

問 赤字額の補填は。

答 一般財源からの補填の形である。

問 嘉儀山の下水道整備は

答 6年度から整備

問 嘉儀山への下水道の進捗状況は。

答 6年度から嘉儀山向け整備を進めていく予定。

問 嘉手刈と儀間の公共施設の污水处理の方法は。

答 浄化槽での処理になっている。

問 町管理漁港整備計画は

答 漁港、漁場整備長期計画を策定

問 4年度の整備計画は。

答 町管理漁港の4年度中の予算が承認されていない状況から4年度の整備はない。今後、次期漁港、漁場整備長期計画を策定し事業を推進する。

問 廃船処理の予算化と仮置き場の確保は。

答 仮置き場の協力はできるとの回答であり、運搬費用も含めて検討する。

問 横領事案の経過は

答 損害金を回収

問 横領事案のその後の経過は。

答 給与等の差押えを行い、損害金を回収する。

問 回収方法は。

答 関係者と相談の上、検討する。
問 所在の確認は。
答 住所は把握しているが、所在の確認はしていない。



整備が求められる儀間漁港



富永 肇 議員

問 町立幼稚園の状況は

答 幼稚園教育の質の向上に努める



問 現在2園で幼稚園教育が行われている。4年度に開園予定の認定こども園が延期となり令和7年度以降の予定になった。認定こども園に移行する予定の為、幼稚園の施設老朽化や学習環境の要望等に大きな改善等が行われなかった。今後の認定こども園の開園まで年数を要するが現状の課題や現場の声は。

答 両幼稚園施設とも築年数が長く耐震診断調査を実施する予定。急を要する箇所の要望は上がっていない。職員体制は人材不足により毎年人員の確保に苦慮している。幼稚園教育の課題は質の向上であると認識している。

問 両幼稚園の職員の配置状況と対応は。

答 次年度は両園ともクラス数プラス主任を本務職員で担う。ヘルパーが3名、足りてない状況。情報網を巡らせ努力する。

問 幼稚園の保護者にとって認定こども園は教育面、子育て

支援においても期待していた。幼稚園教育の質の向上との答弁があるが、今後は、より保育所、幼稚園の連携が必要である。現場の声を聞き、どのように取り組むか。

答 認定こども園化移行を見据えて保育所との連携を図り人事交流等や職員研修を行い幼児教育の共通認識を持つ。4年度4月より保護者ニーズに応えることと教育時間の確保の目的として給食を導入する。



老朽化による耐震診断調査予定の園舎

問 アフターコロナに向けた取り組みは地域活性化に必要なイベントに取り組む

答 2年に及ぶイベントや地域行事、スポーツ大会の中止や縮小は経済の停滞だけでなく島全体の活力が低下し地域コミュニティの希薄化、地域行事の継続などに大きな影

響を与えている。イベント等による人的交流による町民の活性化を図るために行政が先導的な役割を担って行くことが重要と考えるが施策はあるか。

答 行政が率先し取り組む必要があるが、具体的な方針を示せる状況ではない。

問 イベント開催に向けた関係各位との協議、意見交換等は。

答 関係機関との調整は行っていないが、国、県のイベントの指針等ができた場合に関係機関と協議する。

問 関係機関との協議を行い適切な感染対策によるイベント再開の可能性と町独自の方針は。

答 経済と地域が疲弊している状況にある。規模ごとのイベント開催は各関係団体と協議し取り組む。

その他の質問

問 自治体デジタルトランスフォーメーションの取り組み。



新垣 幸子 議員

問 本町のふるさと納税、改良の余地は

答 事例等も参考に進めていきたい



問 本町の自主財源獲得のため今本腰を入れて取り組む時期に来ていると考える。返礼品となる地場産業や観光に力を入れ、地域活性化に繋げていくことが重要課題と考える。直近5年間の寄付金額と返礼品の主な品目は。

答 平成28年度305万円、29年度6,029万円、30年度1億3,290万円、令和元年度1億6,685万円、2年度1億3,799万円である。返礼品で多く選ばれているのが、車エビやマンゴーである。

問 佐賀県上峰町の寄付金額は毎年40億から60億の間で推移している。返礼品は、主に佐賀牛、お酒、ハンバーグ、ウナギなどである。ふるさと納税サイトの利用状況を専門業者に依頼し調査分析を行っている。またメルマガ配信を定期的に町内のPRと返礼品のPRを実施している。掲載の工夫次第でPRは可能だと思つが。

答 返礼品を強調した寄付者を誘引するための宣伝広告は禁止されているが、特産品や町のPRなどのやり方がある。

問 ふるさと納税のノウハウを習得するために、先進地の担当者を招聘して研修会を開催しては。

答 上峰町の担当者に連絡をしたところ、お互いの町の発展に繋げていきたいとのことである。上峯町や、他の自治体とも意見交換したい。

問 歯科診療所再開の進捗状況は

答 仲里歯科診療所建物の耐力度調査を実施

問 調査の結果はいつ頃分かるのか。基準に達していれば、基本設計、実施設計、改修工事ということになる。基準に達しない場合は、同じ場所に新築するか、別の物件を探して改築するのか伺つ。



ふるさと納税について説明する上峰町町長

答 3月19日まで調査の工期になっている。結果は業務完了後、終了後に報告を受ける予定。仮に耐力度が満たされなかった場合は、場所やスケジュール等も含めて改めて検討する。

問 「生理の貧困」の行政支援は

答 配布の方法を検討

問 1年前にある女性の方から「生理の貧困について、1人でも困っている子がいると出ることから始めようと考えています。」との相談があつ

た。最近の1年間で2小学校、1中学校、高校に生理用品を5パックずつ配布を行っている。また、町婦人会もこの活動に賛同し寄付を募っている。心から敬意を表したい。「各学校のトイレへの生理用品の常備・設置について検討を依頼していきたい。」とあるが見解を。

答 寄贈団体レッドボックスジャパンを活用して寄付を受けた学校は8校中4校、教育委員会としては、トイレ個室への設置は、引き続き学校へ周知していきたい。

問 「生活困窮している方や生理用品を必要としている方、全てに届ける配布方法を検討する。」とあるが、どのような方法があるか。いつ頃から実施できるか。

答 これから財政との調整を行い十分検討した上で、よい方法が決まり次第、実施できたらと考えている。

問 その他の質問
生活困窮者の保護行政について



吉永 浩 議員

一般質問 — 町政のこころを問う

問 令和4年度の施政方針は

答 後期基本計画の指標から



問 4年度の施政方針の骨子は。

答 後期基本計画で掲げた「目指そう指標達成」に向け、成果目標など方針とした。

問 担い手、人材育成や人材確保がキーワードと感じた。人口減少とどう向き合つか。

答 人口減少は、本町の最重要課題。まずは人口減少を緩やかにする必要がある。総合計画の指針と個別計画を着実に実行する。

問 2次総合計画は残り4年。人口減少に歯止めがかからない中で、まずは緩やかな減少にする。そして、第3次総合計画を見据え、残り4年間に取組むべきことを考える必要があるのでは。

答 3年ごとではなく毎年の計画のヒヤリング実施などを行い改善を図る。

問 町民と現状や将来への危機感を共有すべきだと思ふが。

答 それも必要。社会情勢が変化するなかで、久米島の環境は恵まれている。人口減少問

題は重要性を地域に伝えていく。

問 2期目町長の公約達成状況とその見解は。

答 複合型防災・地域交流拠点施設ほんのもり、納骨堂など施設整備を実施。2期目後半は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う町民の生命や健康対策を重点的に取り組んだ。

問 人材育成基本方針は 次年度中の策定に取組む

問 第2次総合計画における行政改革大綱に示された人材育成基本方針の策定状況と具体的な計画は。

答 人材育成方針は平成18年度に策定。人事評価制度の構築や研修制度の充実を図ってきた。社会環境の変化により複雑多様化する地域課題に対応するため、職員の能力向上に加え、組織力を高め、効率、



納骨堂



ほんのもり外観

効果的な行財政運営に取組む必要がある。新たな方針策定を4年度中に取組む。

問 自治基本条例制定を 他自治体の状況等を踏まえ検討

問 北海道ニセコ町で初めて制定された自治基本条例。原則は情報共有と住民参加。これからの久米島に必要なもの。

地方分権の進展や町民との協働のまちづくりを進めるため、本町でも自治基本条例制定を進めていく必要があると考えるが。

答 自治基本条例は自治体の基本の運営のルールを定める条例として、全国397の自治体で策定されている。制定自治体の状況や町総合計画等の関連を調査、研究し、導入を検討していく。



問 農業振興は

答 取り組んでいく



一般質問 — 町政のこころを問う

問 本町の、ハーベスター導入の計画は何台か。

答 現在32台のハーベスターで、機械の収穫率が、2年、3年間で55・4%。今後、4、5台入れれば、目標の70%を達成すると考える。機械化に向けてしっかりと取り組んでいく。

問 機械化が進む中で、農業振興を後押しするために圃場へ乗り入れが可能な事業はできないか。

答 計画的に整備を行っていきたい。整備計画の中で乗り入れ等だけの整備が可能なのか再度調査し、検討する。

問 再任用制度は

答 条例を制定

問 本町の再任用は何人か。また、会計年度任用職員の数、再任用する目的、理由は。

答 再任用職員10名、会計年度任用職員166名。再任用制

度は、公的年金の支給開始が段階的に65歳からとなったことから、定年から年金支給までの無収入期間を埋めることを目的とした制度である。本町においては、平成14年に条例を制定し運用している。

問 石垣の崩落は

答 国庫補助で検討中

問 仲里間切蔵元跡に一部崩落した所がある。石垣修復、石碑の整備は。

答 美崎小学校校門側の石垣上部の石材、約1.5メートルが欠損状態になっている。県文化財課が現状を確認している。石垣修復、石碑の設置は、国庫補助事業が可能か検討中である。修復までの間は、見学者や児童生徒の安全を優先に対策を講じる。



一部が崩落した仲里間切蔵元跡の石垣

6月定例会議会の傍聴へ行こう!!

定例会は **6月29日(水)～7月1日(金)**
開会予定

仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでもご覧いただけます。定例会日程の詳細はホームページをご覧ください。

※感染症予防の対策を行いながらの傍聴となり、傍聴人数の制限があります。

レポート

活動の様子を
見てみよう！



A 議会では定例会や臨時会のほかにも 委員会活動や議会活動を行っているよ！

■ 建設経済委員会

令和3年9月定例会において付託のあった「インボイス制度（適格請求書等保存方式）の導入中止を求める陳情書」については、慎重に審査する必要があることから継続審査となっており、委員会で税務課職員へ依頼し制度に関する勉強会を行いました。また商工会職員、観光協会職員との意見交換を行い、陳情に関する審議を行いました。

また、所管事務調査として「観光地整備に関する現場調査」を行いました。商工会、観光協会から「観光地整備に関わる提案と要請」が議長あてに提出があったことを受け委員会では、商工観光課長、建設課長同行で町内5か所の現場調査を行いました。



インボイス制度意見交換会



現場調査置石入り口



現場調査ミーフガー

■ 議会活性化特別委員会

政務活動費について

令和3年12月に「議会基本条例」の制定

令和4年1月1日施行

議会基本条例第13条2項「政務活動費については、別に定める」とある。

令和2年11月に活性化委員会で八重瀬町、中城村、嘉手納町、南風原町、を視察。（議会基本条例とあわせて）これまで、活性化委員会で3回委員会を開催し、「政務活動費に関する条例、規定、取扱要領」を、視察してきた4議会の条例等を照らし合わせて、協議、検討しています。



会議の様子

『政務活動費』とは

地方議員の調査活動基盤の充実を図るため、議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派または議員に対して政務調査費を交付できるよう地方自治法で制度化されている。

＝主な用途として＝

- ① 研修費・・・他団体等の開催する研修会等に参加する経費等々。
- ② 会議費・・・他団体等の開催する意見交換等各種会場への参加に要する経費等々。
- ③ 調査研究費・・・地方財務等に関する調査研修費。
- ④ 広報公聴費・・・議員が行う活動について住民に報告するために要する経費並びに住民から町政に対する、要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費等々。
- ⑤ 要請・陳情活動費・・・陳情活動を行うために必要な経費等々。
- ⑥ 資料作成費・・・議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費等々。
- ⑦ 資料購入費・・・議員活動に必要な図書、資料などの購入に要する経費等々。

本町議会においても、議員の調査研究その他の活動に資するため「政務活動費」の導入を協議しています。



ねえ
教えて!

委員会

Q 議会って
定例会・臨時会以外では何しているの？

■ 広報特別委員会

町民と議会をつなぐ架け橋である久米島町議会だより。その議会だより活性化のため、令和4年2月24日に北谷町議会広報視察研修を行いました。その後、広報委員会にて研修の振り返りと今後についての議論を深めました。県内でも注目される北谷町議会広報は、それを作成・編集する委員の熱意そのものがカタチになっていると感じました。良いものや参考にすべきことはどんどん取り入れ、町民に喜ばれる議会だよりを目指して、これからも委員会として頑張っていきたいと思えます。



北谷町議会広報視察



広報勉強会

「議会広報クリニック」に参加しました

各町村議会広報委員と広報コンサルタントの先生からくめじま議会だより 77号のクリニック（診断）を受けました。

○良い点

- 全ページオールカラーで色合いがよく、文字も大きくて見やすい。
- 夢の「1人1ページ」を実現し、紙面の大半を占める一般質問は行間もあり読みやすい。顔写真も動きがあり臨場感を感じる。
- 議案評決を全会一致でなく「全員賛成」と表記しているのが面白い。
- 編集後記は委員の思いがよく伝わる。広報委員全員の名前を載せているのは良い

△改善したい点

- 全面カラーで見やすいが、全体的に硬いイメージ
- 審議した議案等あっさりした説明になっている。もう少し丁寧に説明したほうがいい
- 一般質問がメインすぎて委員会や議会全体の動きがよく分からない
- 一般質問の質問内容に関する写真のないページや答えがない質問もある。統一を。

before → after

町民の皆様親しんで読んでもらえるよう、表紙のデザインをリニューアルしました！

今後も改善を重ね、議会の内容を分かりやすく、興味を持っていただけるように議会だよりを作成してまいります！



令和4年2月

- 3日・議会運営委員会
 - ・全員協議会
 - ・臨時議会
- 7日・広報委員会
- 10日・建設経済委員会(現場調査)
- 17日・沖縄県町村議会議長会定期総会に議長出席
- 18日・沖縄県離島振興市町村議長会定期総会に議長出席
 - ・全員協議会
- 22日・議会活性化委員会
- 24日・広報委員会視察研修
- 25日・沖縄県市町村議会議員・職員研修会
- 28日・全員協議会現場調査
 - ・議会運営委員会

令和4年3月

- 2日・離島留学生卒業報告会に議長出席
- 4日・広報委員会
- 7日～10日
 - ・3月定例会(一般質問)
 - ・全員協議会

- 11日・予算審査特別委員会
- 14日・予算審査特別委員会
- 17日・大田昌秀顕彰事業役員会に議長出席
- 18日・建設経済委員会
- 23日・高速船導入検討委員会建設経済正副委員長出席
 - ・JTA山城支店長表敬議長対応
- 24日・3月定例会(議案審議・閉会)
 - ・全員協議会

令和4年4月

- 6日・じんぶん館入寮式・交流会に議長出席
- 20日・全員協議会
- 21日・南部離島町村長議長連絡協議会決算監査に議長出席
 - ・南部離島町村長議長連絡協議会役員会、定例会に議長出席
- 22日・沖縄振興拡大会議に議長出席
- 26日・臨時議会

表紙の写真募集します



議会だよりを町民により身近な
広報誌とするため、表紙の写真を
募集します。

今年のテーマは **町民の皆さんの顔(人物写真)** です。

募集
内容

- イベント、自治体や学校行事などの写真をお寄せ下さい。
- ※必ず本人の承諾を得て下さい。
- ※謝礼はございません。

詳しくは議会事務局まで

編
集
後
記

3月に入り、卒業シーズンを迎えました。空海やフェリターミナルでは離任する教職員らの新たな旅立ちを見送ろうと生徒や保護者の姿が多くみられ、感謝の言葉が入った横断幕もあり、姿が見えなくなるまで手を振っていました。寂しさもつかの間、4月に入ると職員や生徒が新たな先生を笑顔で迎えています。離島ならではの光景ですね。

4月より議会事務局も新たな体制になり、より活発な議会運営が可能となりました。広報委員会と事務局職員が一緒に議会だよりの企画、編集を行っています。少しずつですがリニューアルされているのがわかりますでしょうか？読みやすく、わかりやすい議会だよりの作成と、町民の声なども掲載し、身近な町議会を目指して頑張ります。ご意見、ご感想をよろしくお願いたします。

広報委員

(富永 肇議員)

棚原 哲也
赤嶺 秀徳
宇江原 建
真栄平 正
富永 肇